

## デジタル推進計画進捗状況中間ヒアリング

日 時 令和7年10月15日(水) 13時30分～16時00分

場 所 本庁舎5階 委員会室3、(碓井庁舎相談室※オンライン)

ヒアリング 本部長(市長)、副本部長(副市長、教育長)、総務課長、デジタル戦略課長、人事秘書課長、財政課長、総合政策課長

課名	NO	アクションシート	説明概要	ヒアリング質疑概要	回答概要
生涯学習課	5	スマホ教室の継続的な開催	ソフトバンクの協力してを得てスマホ教室を開催(合計7コマ)		20名程度応募あり 予算については、全て国からの補助があり業者負担で実施。  スマホ教室の参加人数や講座開設にあたっての予算は?  メディア講座の内容について、デジタル機器の進化に合わせて講座の内容はアップデートしているのか?  YouTube制作について、1件は業者委託、1件は自主制作となっているが、委託と自制作の区別や予算規模は?
	11	未来を担う子どものためのデジタル教育実施	2件の動画を作成中。内訳は、史跡関係と民話関係 史跡関係については委託施策中(2月完成予定) 民話については、稲築地区の河童の話を題材にしている  メディア講座 市内の保育所、小中義務教育学校対象 スマホなどの情報リテラシーについて啓発実施 講座は基本的に対面実施している。 情報リテラシー、人権侵害について啓発		メディア講座の主目的は、子どもの成長と学習能力に関する啓発をしている。理由としては、屋外活動の時間がスマート普及前と比べ減少していること。また、スマートの使い過ぎによる睡眠不足、学力の低下が危惧されているため、健全育成を中心に啓発している。 情報リテラシーについては、SNSを利用する子どもが増える中で、人権侵害などが危惧されるので、加害者にも被害者にもなることを啓発している。  YouTube作成で委託分は、史跡埋蔵文化財等で国庫補助対象である。 自主制作については、スキルのある職員がいるので自主制作できている。 制作自体は難しいことではない。アイデアが大切。
各支所 市民サービス課	13	本庁と支所のオンライン化拡充	本庁と支所を繋ぐシステムの調査研究を継続実施していきたい		【Logoフォーム】市で利用している電子申請作成ツールの名称
	42	市役所窓口のデジタル化拡充	電子申請は80%程度 他市の情報収集を実施していく 自治体ワークスでDXソリューション(クロス)のシステム研究を進める	今後の自治体にとって重要なシステムになると 思っているが、デジタル化を進めていくのか?  自治体ワークスの先進地事例の取り組みの詳細は?	実現に向けてはコストがかかってくるため、財政状況などを踏まえて進めていく。 他の取り組みとしては、行かない窓口などLogoフォームなどを活用し検討していく。  窓口業務ワンストップサービスを実現する非対面型ソリューションである。 支所の窓口対応を本庁で遠隔で対応できるシステムになっている。
市民課	42	市役所窓口のデジタル化拡充	書かない窓口の取組として らくらくサービスはJ-LISも推奨している 既存PCと券面読み取り機と発券機で実施可能 福津市に視察予定 (デメリットやコストの確認)	マイナンバーカードを利用した電子申請の検討と、 らくらく窓口サービスの導入自治体は?	【J-LIS】地方公共団体情報システム機構の略称。マイナンバー制度を支えるシステムの整備や住基ネットの運営等を行っている。  【らくらく窓口サービス】窓口付近に設置したPCから利用者がコンビニ交付と同じ画面を操作することで証明書を自動作成するサービス。

課名	NO	アクションシート	説明概要	ヒアリング質疑概要	回答概要
産業振興課	28	IT事業者との協働による地域デジタル化推進	R8.1に報告会を実施予定 R7もアンケートは実施済 アンケートを基にR8補助金活用を進めたい	市内事業者への情報提供の周知方法・周知頻度は? 補助金の件数は?(10万 最大5件?)	補助を受けた事業者にアンケートを実施し、デジタル化の進捗を確認。 事例収集はアンケートの中で行う。 情報提供については、報告会や、商工会等での会議で周知依頼を行っている。 補助金は上限が10万、今年度は7団体に交付(予算内)
	30	DXを推進する市内事業者の活動を支援	R7は8月～9月にアンケート実施(中小企業700社対象)30%回答 Logoフォームで回答。回答率7%程度 デジタル化に向けての補助金10万/件で ハード購入だけではなくソフトを入れた補助内容に見直し中	事業者がデジタル化で推進したいと考えている内容について、アンケートなどで市は把握できているのか? 補助金の内容は?	デジタル化で人材不足を補いたい。 補助希望は、PCと会計ソフト等の導入
人事秘書課	6	インターネット利用機会の向上	HPのアクセスはR6は170万件、R7も現状で96万件程度 HPトップページの変更予定(Xの表示方法) R8中にCMSの更新と併せて構成見直し	HPトップページの変更予定はどんな感じで予定しているか? CMSを更新するとHPの編集が簡単になるのか?	トップページの変更については、現在SNS(X)が見れなくなっているので、その対応が中心である。 また、トップページをコンパクトにして見やすくしたい。 基本的な操作性は変わらない。多少使いやすくなると聞いている。
	48	嘉麻市公式HP、SNS等による効果的な行政情報発信の拡充	HPトップページの変更予定 R6にLINEのリッチメニュー変更済		
防災対策課	31	災害に強い情報管理体制構築の検討	情報発信の効率化では、HPに防災特設ページやLINEの防災関連ページへ情報発信システムの導入については費用対効果を検証中	【意見】 DXで情報管理を強固にしても、大災害が発生した場合に、情報発信がアナログになることも想定しておいた方が良いのでは。自主防災組織の活用など。 八丈島で通信障害が発生しているかは分からぬが、想定はしておいた方が良いのでは。	LINEは情報発信のツールとして使用できると考えている。
	32	避難所空き情報などの防災情報を迅速に配信	避難所情報の発信については、入力作業等が必要であり、継続検討 アプリについても引き続き調査検討	アプリではなくLINEに防災特設メニューがあるが、こちらで情報発信できないのか?	
デジタル戦略課	22	オンラインによる市民からの情報収集推進	情報収集フォームについては、「問い合わせフォーム」を活用 市民からの情報収集方法は現状の行政区長からの通報などが最善と思うが、手法については、デジタル化を検討する。	【全体的な事項に関する質疑】 ヒアリングシートの進捗状況表記について、進捗しているのかわからない記載がある。	進捗率について、数字で表記できないものについては、備考に記入するなどの対応する。
	42	市役所窓口のデジタル化拡充	各窓口がフロントヤード、バックヤードの改革の必要性を感じているかが課題。 将来の窓口の総合的なイメージの共有が必要。	進捗が困難な表記のシートもあるが、今後どうしていくのか。	進捗が困難なものについては、デジ戦と内容を協議し、方向性を検討する。
市長コメント			・目標達成に向け、今年度も取り組みを進めてほしい。 ・費用が発生する事業等については厳しい面があることも承知している。情報収集など可能な対応を検討しながら、デジタル戦略課と協議し、達成に向け進めてほしい。 ・電子申請などはかなり進捗している。市民が簡単に手続きできるような「書かない窓口」や「行かない窓口」など小さな市役所を目標に進めていただきたい。 ・取組の成果は確実に出てきていると思うので、今後も続けていただきたい。 ・将来を見越した取り組みを進めてもらいたい。		【フロントヤード】住民と直接接する窓口のこと。 【バックヤード】住民からは見えない行政機関内の業務で、審査・データ処理などのこと。